

ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)に参加して

ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島RC)



ガバナー・エレクトには「ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS) への出席義務」、「国際協議会への出席義務」があることは、みなさまご存知のことと思います。

アメリカ・サンディエゴで行われます国際協議会に出席した時に、そこでの研修効果が十分に発揮されるために、それぞれの国単位、ゾーン単位でGETSが開催される訳です。

日本では、第1回目が2011年9月8日・9日にグランドプリンスホテル新高輪・高輪で、第2回目が11月24日第40回ロータリー研究会にあわせてリーガロイヤルホテル大阪で開催されました。1回目のGETSでは、34地区中32地区 (第2640、第2730地区のガバナー・エレクトが決まっていませんでした) のエレクトが、2回目には、34地区のエレクトが夫婦同伴で招集されました。

以前、松本直前G、岡部Gから「7月になったら、GETS用の研修資料が段ボール箱いっぱい送ってくる」とお聞きしていましたが、今年の夏休みはないものと諦めていましたが、8月も終わりに近づいても件の段ボール箱は届かず、代わりに「ガバナー要覧 2012~2013」だけが入った少し大きめの封筒が届きました。不安に思い、RI日本事務局に電話を入れると「それを持ってきて下さい」とのことで、少しホッといたしました。が、それは晩夏の短い夢に終わりました。

1回目GETS初日は、9時から配偶者同伴での開会本会議でスタートしました。招集者・近藤 雅臣RI理事のジョークをまじえた中にも「この2日間は厳しいですよ」とのご挨拶などがあり、本番の研修会 (グループ討論) に入りました。2グループに分かれ、セッ

ションごとに講義とグループ討論、意見発表などが行われます。1日目のセッションは、① 責務と長期計画、② 地区リーダーシップ・プラン、③ 指導者の育成、④ 地区の運営、⑤ ロータリアンとのコミュニケーション。その後配偶者同伴で、ロータリーの友、ロータリー米山奨学会プログラムの講話を聞き、終了したのは17時50分でした。2日目は8時にセッション開始。① 好ましい公共イメージの推進、② 会員基盤の強化、③ 奉仕活動の支援、④・⑤ 未来の夢計画、⑥ 国際協議会の準備。配偶者も同じ時間帯に、ロータリー全般にわたり研修を受けていました。このセミナーで、研修の労をお執りいただいたRI研修リーダーの皆様方の献身的な姿に感激いたしました。

2回目GETSは、国際協議会 (米国・サンディエゴ) への参加のための準備が主体でした。協議会の「国際祭りの夕べ」での日本チームの出し物「花笠音頭」の練習も女性たちの主導のもと、充分に行われました。

この原稿を書いている12月21日、田中 作次RI会長エレクトから、16頁にわたる「2012年国際協議会の行事日程」がメールで送られてきました。拝見してみますと、1回目のGETSと同様、極めてタイトなスケジュールが記載されています。

この月信が発行される頃は、“お尻に火がついた”状態で、第2660地区の名を汚さないように、国際協議会では全力で知識を吸収し、皆様方に勝るとも劣らぬロータリアンになるよう努力をしている頃かと思えます。